

各ワーキングの取組状況及び平成 30 年度取組内容・体制

<b>魅力発信・観光・商業地賑わいワーキング (魅力発信・観光部会)</b>		担当取組項目： 情報発信等 1～4,7～13, 20～23, 67 教育 5,6
<b>【平成 30 年度取組目標】</b> ○取組の方向性が分かれてきたため、平成 30 年度から 2 部会（魅力発信・観光部会、商業地賑わい部会）に分けて検討を行う。なお、両部会の連携を図るため、同日開催とする。 ○魅力発信・観光部会の主な取組は、 ①地域情報化事業 タウン誌発行、ポータルサイトの充実・管理体制づくり、ラジオ番組の制作・発信 ②向島の歴史文化を発信するツアーの実施 ○地域情報化事業では、サイトの管理者を募集している。タウン誌の編集委員の募集とあわせて、子育て層にアンケート調査を実施している。 ○ツアーの実施では、これまでに地域団体・農業事業者・すばる高校の連携協力によって、マップ作成やヘリツアー、まち歩きを実施してきている。これまでの取組を活かして、向島地域の魅力発信やイメージアップにつながる取組が求められている。		
主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	(神門さん、経済同友会 田中さん)
	進捗管理	都市総務課, アルパック
	地域住民	増田, 西田, 橋爪, 橋本, 宇野, 福井, 上代, 奥田, 神門, 西谷, 田嶋 他
	事業者	商店会, 中嶋農園, 山本牛乳店, 千姫を偲ぶ会, 中小企業家同友会 他
	その他	すばる高校, 公社, 伏見区, 向島図書館 他
今年度取り組むプログラム・取組	7 まちあるきマップ作成と歴史のまちあるき企画の実施 8 向島秋の祭典・千姫行列等地域のまつりの実施 9 農を活かした来訪者の呼び込み 21 ポータルサイト開設・運営 22 タウン誌の発行 23 地域放送局（団地ラジオ）の設立・運営 97 24 号線沿い賑わい施設整備の検討 98 向島ニュータウン商店街の空き店舗及び広場の活用	
平成 30 年度 主な活動の報告	第 1 回 WG 会議	○経過報告 ○今後の取組検討
<b>第 1 回ワーキング 平成 30 年 4 月 21 日（土）参加者：11 名</b>		
<b>○経過報告</b> ・向島まつりのホームページ（HP）が立ち上がったため、HP 管理のための勉強会（4 月 17 日実施）を行った。		
<b>○今後の取組</b> ・HP の管理者を決めて、情報を集約する予定である。まちづくり通信, WG のお知らせ, 地域の活動団体や事業者の紹介, ブログの掲載をめざす。 ・まちづくり通信は、編集委員会を立ち上げて、タウン誌の形態をめざす。地域情報化事業については、伏見区役所の区民活動支援事業補助金を申請予定である。 ・すばる高校では、留学生と連携した外国人観光客誘致の取組案がある。		

<b>魅力発信・観光・商業地賑わいワーキング (商業地賑わい部会)</b>	担当取組項目： 商業施設等 97～105 雇用 111, 112
---	--

**【平成 30 年度取組目標】**

○取組の方向性が分かってきたため、平成 30 年度から 2 部会（魅力発信・観光部会，商業地賑わい部会）に分けて検討を行う。なお，両部会の連携を図るため，同日開催とする。

○商業地賑わい部会の主な取組は，

①向島及び向島NTの魅力・賑わい組織づくり

②向島の魅力を高めるマルシェの実施，事例視察

○昨年度，ステップアップサポート事業補助金を利用して準備組織を立ち上げた。また，地域組織や公社の協力を得て，駅前アンケート調査を行い，魅力施設のニーズを把握した。

○賑わい組織づくりでは，集客力のあるお店を誘致できる組織を目指す。伏見区役所の区民活動支援事業補助金を利用して，先進事例の視察を行うとともに，向島の魅力を高めるマルシェなどのイベントを開催する。

主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	(中嶋さん，経済同友会 戸田さん)
	進捗管理	公社，アルパック
	地域住民	増田，西田，橋爪，橋本，宇野，福井，上代，奥田，神門，西谷，田嶋 他
	事業者	商店会，中嶋農園，山本牛乳店，千姫を偲ぶ会，中小企業家同友会 他
	その他	すばる高校，公社，伏見区 他
今年度取り組むプログラム・取組	7	まちあるきマップ作成と歴史のまちあるき企画の実施
	8	向島秋の祭典・千姫行列等地域のまつりの実施
	9	農を活かした来訪者の呼び込み
	21	ポータルサイト開設・運営
	22	タウン誌の発行
	23	地域放送局（団地ラジオ）の設立・運営
	97	24 号線沿い賑わい施設整備の検討
	98	向島ニュータウン商店街の空き店舗及び広場の活用
平成 30 年度 主な活動の報告	第 1 回 WG 会議	○経過報告 ○今後の取組検討

**第 1 回ワーキング 平成 30 年 4 月 21 日（土）参加者：11 名**

**○経過報告**

以下の取組について経過報告があった。

①向島及び向島NTの魅力・賑わい組織づくり

②「近鉄向島駅前 魅力発信・賑わいづくり」アンケート調査

③第 4, 5 駐車場における商業施設の誘致について公社より報告

**○今後の取組**

- ・魅力・賑わい組織を形にする等により，伏見区役所や京都府の活動補助金に申請の手続きを進める。
- ・先進事例の視察，向島地域の魅力発信やイメージアップにつながるマルシェの実施について検討を進める。

<b>住環境・防犯</b>		担当取組項目： ・住環境：24～40, 65, 66, 106～110 ・防犯：88～96
<p>○今年度は、昨年度まで分かれていた「住環境」WGと「防犯」WGを合わせて開催し、以下の点について重点的に取り組む。</p> <p>○共用施設の再整備</p> <p>① 1街区の集会所の改修について、工事が円滑に進むよう協力して行う。</p> <p>② その他の共用施設についても検討する。</p> <p>○近鉄バスの利便性向上に向けた取組について</p> <p>・様々な声を聴きながら時間をかけて検討する。</p> <p>○中央公園のリフレッシュ工事について</p> <p>・電動車椅子が通行できないゲートがあることから、車椅子ゲートの対応を含め京都市担当部署と協力しながら進めて行く。</p> <p>○住環境パトロールについて</p> <p>・引き続き問題のある場所の発見と対応について、向島ニュータウン全域をパトロールする。</p> <p>・今年度から防犯WGと合同で開催することを踏まえ、地域の安全に関わる部分にも注力し、平成31年4月に小中一貫校開校に合わせて通学路の安全確保に取り組む。</p> <p>・住環境パトロールを軸に、防犯マップの更新、地域全体の防犯にもつながる美化活動の検討に取り組む。</p>		
主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	小林 (京都文教大), (防犯：雪丸 (向島藤ノ木防犯推進協議会))
	進捗管理	京都市都市総務課
	地域住民	増田 (向島二ノ丸学区子ども見守り隊) 日高 (二の丸北学区社協), 福井 (二ノ丸北各種団体連絡協議会), 宇野 (向島藤ノ木学区社会福祉協議会), 山内 (向島藤ノ木学区民生・児童委員協議会), 山崎 (向島中央公園愛護協力会), 神門 (向島駅前まちづくり協議会), 高木 (笑顔つながろう会), 田嶋 (8,9街区自治会長), 内林, 福岡, 森田 (1街区), 橋詰 (3街区), 志賀 (5街区), 松本 (6街区), 中西 (向島; 伏見地域交通安全活動推進委員協議会, 向島交番協議会, 向島防犯委員), 駒井 (向島二ノ丸; 交通安全推進委員), 山本 (向島南; 世界一安心安全おもてなし担当者会議, 安心安全ネットワーク) 他
	その他	山本 (市住宅公社), 村重 (区役所地域力推進室) 他
今年度取り組むプログラム・取組	31 34 38 39 65 91 93 96	市営住宅集会所のリニューアル整備 中央公園, 東公園の樹木等の再整備 市営住宅・住宅供給公社共用施設, 設備の改修 住民参加による老朽化した共用施設の再整備 住環境パトロール活動の実施 住民による美化活動の充実 安全・危険情報の地域内周知, 高齢者や障害者が参画する防犯活動 横断歩道の場所改善・拡充
平成30年度 主な活動の報告	住環境パトロール	○向島中央公園内及び外周道路を確認。

**第1回住環境パトロール 平成30年4月28日(土) 参加者：14名**

- ・ 中央公園にて実施。
- ・ 公園内を歩き、「防災ベンチの活用(案)」や段差、車椅子が通れないスロープ、自転車との衝突の恐れがある箇所、車椅子ゲートの課題(電動車椅子が通れない)、中央公園のリフレッシュ工事の現状、中央公園における柵の老朽化、中央公園の夜間時の防犯上の問題などが確認、情報共有された。



- ・ 次回の住環境パトロール  
6月3日(日) 14:00～ 8街区(東公園東端集合)

**※住環境WG 平成29年度のふりかえり**

- ・ 共用施設の再整備(1街区集会所の改修要望)
  1. 男女共用トイレの個室化・洋式化
  2. 集会所の居場所化に伴うキッチンの改修
- ・ 近鉄バスの利便性向上に向けた取組み
  1. 近鉄バスの利便性向上に向けた運行ルート変更の検討
  2. 向島5学区への要望案の回覧と意見聴取
  3. 近鉄バス本社への要望

近鉄バス本社からは京都市から要望があれば検討する旨の返答があり、またルートへ変更に向けては多様な意見があることからじっくり時間をかけて進めて行く必要があることが明らかになった。
- ・ 中央公園のリフレッシュ工事に向けた取組  
京都市担当者から検討・工事内容について説明を受けた。1～3月に伐採、植栽工事が行われた。
- ・ 東公園東側の横断防止策の美装化  
向島藤の木小学校5・6年生とペイントWSを実施し、年度内に取り替えられた。
- ・ 住環境パトロール  
1街区、5街区、6街区と時計台広場・商店街、8・9街区と東公園・10・11街区等にて実施。

**○次回WG**

6月12日(火) 19:00～20:30 於. 京都文教マイタウン向島

<b>子ども・若者支援</b> (子育て世帯等支援含む)	担当取組項目：41～52
---------------------------------	--------------

**【平成30年度取組目標】**

○平成29年度から取り組んでいる小学生・中学生の学習支援，高校生の居場所づくりを持続可能な形で広げていくことを目指す。

- ・事業実施に必要な子ども・若者支援の拠点となる場所について，向島二の丸小，向島中学校の跡地利用も含めて，他のWGとともに検討していく。
- ・また，子どもや若者と保護者，地域の教育機関（小・中学校など）とのつながりの薄さが課題に挙げられていることから，WGへの参加の呼び掛けに加えて，中・高校生へのアンケート実施や各校PTAへの報告・意見交換による小・中学校との連携を行うことにより，当事者の様々な声をまとめる体制づくりを強化し，子ども・若者支援や保護者の支援に取り組む。

主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	長谷川光弘(3街区G棟)，山内忠敏(向島藤ノ木学区民児協)
	進捗管理	三林真弓(京都文教大学臨床心理学部教授)・杉本星子(京都文教大学総合社会学部教授)
	地域住民	高木(向島二ノ丸学区民児協)，増田(向島二ノ丸学区子ども見守り隊)日高(二の丸北学区社協)，本田・河野(伏見地区更生保護女性会)，上田(向島中学校PTAOB)，松本・松田(向島藤ノ木学区民児協)，西谷(向島南学区，向島中学校PTAOG)，土橋(MJ学習会運営)他
	事業者	須釜(城南保育園)，丸岡(城南児童館)，大濱(むかいじま健幸プラス)，田中(中部はすの実ひろば)，大下・村井(伏見青少年活動センター)，桐澤・田中・山本(伏見区社協)他
	その他	三林・杉本(京都文教大)，美留町(向島駅前まちづくり協議会)，沖野(市住宅公社)，山本(区役所子どもはぐくみ室)，長澤(龍谷大)他
今年度取り組むプログラム・取組	42	中学生の勉強場所の確保
	43	「アフター5スクール」づくりの推進
	46	市営住宅各街区集会所等既存施設の活用・改修による必要なサポート実施
	50	夜の安心安全な居場所，食の支援，学習支援
	52	子どもを育てる親世代への支援の拡充
平成30年度 主な活動の報告	第1回 WG会議	○参加者の紹介 ○前回WGの内容の確認・振り返り ○今年度のWGの進め方について ・子ども・若者支援の活動の連携促進について ・向島二の丸小学校・向島中学校跡地における子ども・若者支援拠点づくり検討と跡地利用検討協議会設置に向けた提案について 等

**第1回ワーキング 平成30年5月6日(日) 参加者：16名**

○今年度のWGの進め方について

- ・子ども・若者支援WGと「子ども若者拠点づくり実行委員会」との役割分担を明確にし，各々の事業を推進する。
- ・子ども若者拠点づくり実行委員会は，小学生・中学生の学習支援，高校生の居場所づくりに取り組む。

んでいる既存団体との情報交換を行い、活動を拡充させていく。なお、予算は伏見区役所の区民活動支援事業補助金の申請を予定しているが、活動の展開に必要な拠点となる場所の確保が必要。

#### ①向島二の丸小・向島中学校跡地の利用について

- ・早期に暫定利用を検討する会議体を開催し、各WGで検討している活用案、利用可能な想定期間（長期的 / 短期的）等の情報を共有し、具体的な内容及び体制を議論する必要がある。
- ・現時点では、跡地利用について何かが決定しているわけではなく、必ずしも住民の要望を反映できるとは限らないが、議論の場にあげるためには、子どもや若者だけでなく、高齢者や障害者、中国帰国者など、様々な地域住民の声をまとめる必要がある。

②このWGと地域の教育機関や子どもたち、保護者とのつながりが薄いことが課題として挙げられている。様々な声をまとめることが求められているため、こちらから対象層の場へ赴き、WGの説明やアンケートを実施したい（特に子ども若者の居場所づくりのためには、中高生の声を聞くことが重要）。

- ・今後のWG事業実施案は次の通り。

- 1) 中高生を対象としたアンケート実施（内容及び名義については、他のWGも含めて要検討）
- 2) PTAへWGの報告・意見交換
- 3) 小学校・中学校の教員（代表）がWGへ参加ないしは意見交換

#### ○その他

- ・昨年度、京都市の児童館において大学と連携した学習支援事業が実施された。学習支援を通じた自己肯定感の向上が主な目的のひとつである。城南児童館としては、中学生も含めて大学と連携して取り組んでいきたい。

- ・今後のスケジュール案

5月16日の推進会議において、小・中学校の跡地利用に関する話し合いの場を設けることを提案し、中・高校生へのアンケートについてもステップアップサポート事業補助金の申請も含めて5月中に検討する。

#### ○次回WG

6月23日(土)10:00~12:00 於. 向島学生センターセミナーハウス2階研修室

<b>暮らし安心ワーキング</b> <b>(高齢者・障害者・多文化多世代交流)</b>		担当取組項目：14～17, 53～58
<b>【平成 30 年度取組目標】</b> ①「多世代・多文化共生のまちの拠点づくり」 ②「高齢者・障害者の生活課題に対応した取組」 ③「中国帰国者や外国籍住民など日本語を母語としない方々の生活支援」に取り組む。 ○WG は全体 WG（高齢者・障害者・多文化多世代交流）と中国帰国者交流 WG の 2 つに分けて開催する。 ・中国帰国者に特化した WG を立ち上げ、地域住民との交流を促進していく必要がある。また高齢化などの共通課題もあることから、全体 WG に中国帰国者の方々も参加して情報共有したり、議論を行いながら進めていく。 ・WG では、障害者福祉サービス・介護福祉サービスを具体的にどう進めていくか、先進自治体への視察などを行い、市営住宅やURの空き住戸のグループホーム等への利用について検討する。		
<b>主な構成メンバー</b> <b>(敬称略)</b>	<b>リーダー</b>	黒多（にじいろプロジェクト）
	<b>進捗管理</b>	齋藤（京都市都市総務課企画調整係長）
	<b>地域住民</b>	佐々木（向島二ノ丸学区民児協）、増田（向島二ノ丸学区子ども見守り隊）、日高（二の丸北学区社協）、田嶋（向島藤ノ木学区社協）、山内（向島藤ノ木学区民生・児童委員協議会）、宇野（向島東公園愛護協力会）、小山（向島公団住宅自治会）、福井（二ノ丸北各種団体連絡協議会）、小島（1 街区）、矢吹、櫻田（5 街区）、木村（11 街区）、藤井（3 街区）、遠山（夕陽紅の会）他
	<b>事業者</b>	平田、佐藤（愛隣館）、岩城、福井（むかいじま病院）、谷口（あじさいガーデン伏見）、西川（地域包括支援センター）、高（こうふく介護サービス）高田（メディケア・リハビリ訪問看護ステーション）、他
	<b>その他</b>	吉村、馬場、杉本（京都文教大）、美留町（向島駅前まちづくり協議会）他
<b>今年度取り組むプログラム・取組</b>	14 15 16 18 19 53 56 58	既存施設の活動拠点としての活用 市営住宅集会所・空き住戸の改修と活用 多文化・多世代交流の機会づくり 街区・学区を越えて誰もが集える多文化・多世代のまちづくりを進めるための拠点の整備の検討 多文化・多世代のまちづくりを進めるための拠点の運営主体となる住民組織、NPO等設立の検討 街区集会所等による生活サポート拠点づくり 健康づくりや文化活動等の事業連携、情報の共有 総合的な生活支援サービス事業の実施
<b>平成 30 年度 主な活動の報告</b>	<b>第 1 回 WG 会議</b>	○参加者の紹介 ○前回WGの内容の確認・振り返り ○今年度の WG の進め方について ○1 街区ペア住宅の目的外使用について

		○市営住宅を活用したグループホームの視察について ○その他
<b>第1回ワーキング 平成30年4月14日（土） 参加者：21名</b>		
<p>○前回WGの内容の確認・振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月に小規模多機能ホームぐるんとぴーの運営者を招いて講演会を実施。向島ニュータウンにおける公営住宅の空き住戸等を利用した24時間サービスの適用可能性等について話し合われた。</li> <li>・3月3日に「にじいろ準備プロジェクト」がシネマとトークを開催し、40名が参加。今後もこうした企画を通して、向島在住の障害者や多文化ルーツの方々の地域参加を推進するプロジェクトを進めていく。</li> <li>・今年度から地域住民が座長となり、本WGを運営していくことが確認された。</li> </ul> <p>○今年度のWGの進め方について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「多世代・多文化共生の町のための拠点づくり」</li> <li>②「高齢者・障害者の生活課題に対応した取組」</li> <li>③「中国からの帰国者など日本語を母語としない方々の生活支援」を取り組む。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WGは、全体WG（高齢者・障害者・多文化多世代交流）と中国帰国者交流WGの2つに分けて開催する。中国帰国者については中国語での議論が必要なため、特化してWGを立ち上げていく必要がある。また高齢化などの共通課題もあるため、全体WGにも中国帰国者の方々が参加し、情報共有しながら議論を進めていく。</li> <li>・市の今年度予算で中国帰国者等との住民の交流促進の手法に関する検討を行う。</li> <li>・既存施設の利用など、制度が進んでいる自治体への視察を参考に、向島モデルの検討を行う。</li> </ul> <p>○1街区ペア住宅の目的外使用の検討について</p> <p>○市営住宅を活用したグループホームの視察について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅をグループホームへ利用する案の検討を進めていく。</li> <li>・障害者福祉サービス・介護福祉サービスを具体的にどう利用できるか、先進自治体の視察を行う。</li> <li>・公営住宅のグループホームへの活用について、大阪府は予算化し、進めている。公営住宅の問題と母子対策・障害者支援を同期させている（視察先候補：大阪府八尾市・大阪市）。</li> <li>・WGで検討されている目的外使用の可能性については、まず庁内での検討が必要。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下記の通り、活動（予定）報告がなされた。</li> </ul> <p>「にじいろプロジェクト」</p> <p>6月2日または9日にシネマとトーク（障害者のいじめ体験の物語）を開催。</p> <p>「NPO法人 向島駅前まちづくり協議会」</p> <p>朝市、駅前美化、公園美化、大正琴を聞く会を実施。向島城の模型づくり勉強会などを予定。</p> <p>「自主防災会」</p> <p>5月16日10時から出前講座を5街区集会所において開催予定。</p> <p>「社会福祉協議会」</p> <p>高齢者の居場所づくりを学区毎に実施。地域包括センターと街区を横断した避難訓練や福祉避難所などについて勉強中。</p> <p>○次回WG</p> <p>6月16日(土)10:00～12:00 於. 京都文教大学光暁館1階第1会議室</p>		



<b>中国帰国者・多文化共生ワーキング</b>		担当取組項目：17, 59～64, 67, 95
<p><b>【平成 30 年度取組目標】</b></p> <p>○向島NT居住の中国帰国者等について、日本人の一般住民等とのコミュニケーションの困難さから、日常的なトラブル等が見られる。特に、防災面や高齢化に係る福祉面において課題がある。</p> <p>○運営会議の住民メンバー及び中国帰国者コミュニティ（夕陽紅の会等）代表者による意見交換の場を設け、課題解決に取り組むWG設置をめざす。</p> <p>○WGにおいて、①向島二の丸小・向島中の旧校舎を活用した中国帰国者コミュニティの活動拠点の確保、②既存行事への参加・交流の検討、③小学校等の子ども達との交流等について検討予定。</p>		
<b>主な構成メンバー</b> （敬称略）	リーダー	夕陽紅の会代表者
	進捗管理	都市総務課，アルパック
	地域住民	夕陽紅の会，学区社会福祉協議会 他
	事業者	こうふく介護サービス，京都市向島地域包括支援センター，むかいじま病院 京都市社会福祉協議会 他
	その他	京都文教大，京都市総合企画局国際化推進室 他
<b>今年度取り組むプログラム・取組</b>	17 59 60	留学生・中国帰国者等と子どもたちの文化交流促進 中国帰国者等の生活課題，ニーズや自助グループの活動におけるニーズを把握し，支援策等を検討 中国帰国者等とのネットワークづくり
<b>平成 30 年度            主な活動の報告</b>	事務局会議 5/16（水）	○今後の取組検討 ・WG設置に向けた人選 ・今年度の目標と取組

<b>防災ワーキング</b>	担当取組項目：68～87
----------------	--------------

**【平成 30 年度取組目標】**

※平成 29 年度の防災・防犯WG検討内容に応じて、防犯は住環境WGと合併することとした。平成 30 年度は防災のみのWGとする。

- 平成 2 9 年度に検討を進めてきた「市営住宅空き住戸の緊急避難所（水害時垂直避難）」としての活用に向け、5 街区市営住宅の 1 住戸をモデルに訓練・検証を進め、運営体制・方法の確立を進める。
  - ・ 5 街区市営住宅空き住戸の緊急避難所としての運営・管理体制づくり（7 月ごろを目処に）
  - ・ 5 街区市営住宅空き住戸の緊急避難所としての利用訓練・検証（秋の防災訓練時期を目処に）
- 上記とも関連させ、個々人の避難行動計画づくり、避難支援体制づくりを進める。
  - ・ 向島二ノ丸学区での取組（障がいのある方の避難支援の活動や我が家の避難計画シートづくり等をふまえた避難行動シート、避難支援体制づくり（暮らし安心WGとの連携）
- 防災上危険箇所の把握と水害時の水位・避難先等のサインの検討
  - ・ 多言語での表示も検討する（中国帰国者等交流WGとの連携）
- 向島中央公園への防災設備（防災ベンチ等）の設置検討

主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	珍田（向島藤ノ木学区自主防災会）、書記：佐藤（愛隣館）
	進捗管理	伏見区役所総務防災担当、京都市都市総務課
	地域住民	珍田（向島藤ノ木学区自主防）、岡崎（二の丸北学区自主防）児玉（二の丸北学区自主防）、増田（向島二ノ丸学区自主防）、矢吹（日本自立生活センター（向島二ノ丸学区））、上代（向島学区自主防災会）、野崎（向島南学区自主防災会）、奥田（向島南学区）、福井（二の丸北学区各種団体連絡協議会）、橋本（10 街区自治会） 他
	事業者	佐藤（愛隣館）、西川（地域包括支援センター）、桐澤（伏見区社協） 他
	その他	杉本（京都文教大）、谷本（伏見区役所総務防災担当）、伏見消防署向島出張所 他
今年度取り組むプログラム・取組  網掛けは昨年度からの継続で必ず取り組むもの	68 69 70 72 73 75 76 77 78・79 81	災害想定のお知らせ 防災準備状況の定期チェックとノウハウ共有 配慮必要な住民の情報共有とニーズ調査 周知媒体、マニュアル等の情報バリアフリー化 多様な（二重三重の）情報発信 災害時要配慮者の避難誘導、支援の関係、体制づくり（関連：74 避難行動シートづくり） 防災訓練の見直し、充実（訓練への多様な人の参加） 地域防災組織の充実 空き家の避難所活用とマニュアル・ルールづくり ニュータウン全体の公園への防災設備設置
平成 30 年度 主な活動の報告	第 1 回 WG 会議	○経過報告 ○今年度の取組目標 ○市営住宅 5 街区空き住戸の避難所活用モデルの検討

**第1回ワーキング 平成30年4月21日（土）参加者：17名**

**○経過報告・今年度の取組目標**

- ・平成29年度の取組全体の振り返りを行なった。
- ・防犯については住環境WGの中で取組検討を進めることを確認した。
- ・5街区市営住宅の1室を水害時緊急避難先として活用を進めるために今年度取り組むことを確認した。

**○市営住宅5街区空き住戸の避難所活用モデルの検討**

- ・日常・災害時の管理運営体制についてアイデアを出し合った。
- ・鍵の管理，備蓄品，初動体制について課題や検討事項を話し合った。
- ・最新のハザードマップ等の情報をもとに，避難対象となる階や対象者の把握，支援体制も課題であることを確認した。



次回ワーキング会議：5月26日（土）午前10時～ 場所：向島学生センターセミナーハウス

以上